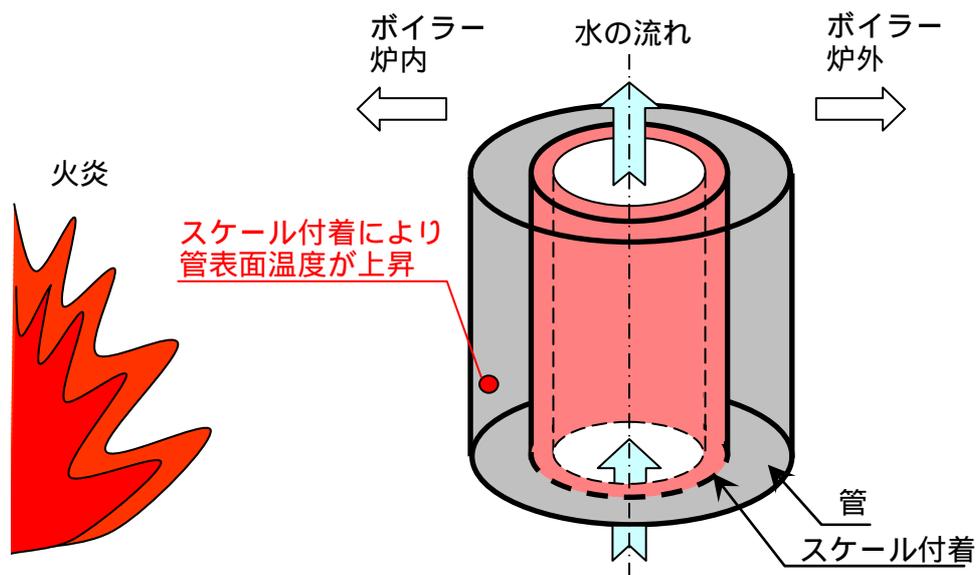


### 〔推定原因〕

管内面へのスケール（酸化鉄）付着により伝熱が阻害されたことで、管の表面温度が上昇し、管の強度が下がり、時間とともに徐々にひずみが増え変形していき（高温クリープ）損傷に至ったと推定される。



### 〔対策〕

- 損傷管の新管取替。
- 管表面温度計の追設及び監視強化。